



元気にマジメに笑顔をつなぐ

あゆみだより

2019年3月25日発行

No.211

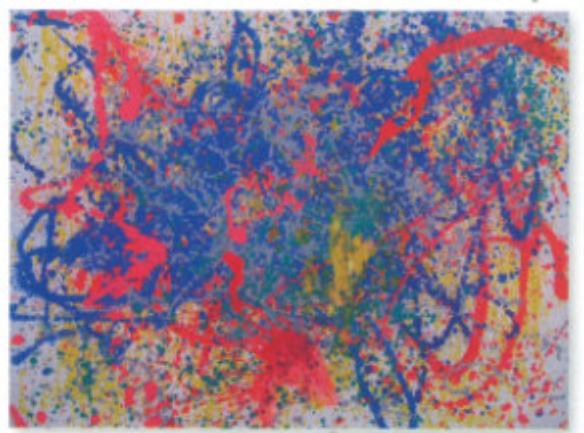
平成30年度後半振り返って

30年度の後半の大きなイベントとして、秋季合宿、あゆみ祭、成人・還暦を祝う会を行いました。

今年度も沢山の方々のあゆみの家の事業に対するご理解とご協力を頂きながら日々の通所、イベント等が出来た事を心より感謝申し上げます。

前号のあゆみだよりは、あゆみ祭の直前の時期でした。今年のあゆみ祭は、職員が一緒に作成した沢山の作品を展示し、沢山の方に来場して頂きました。

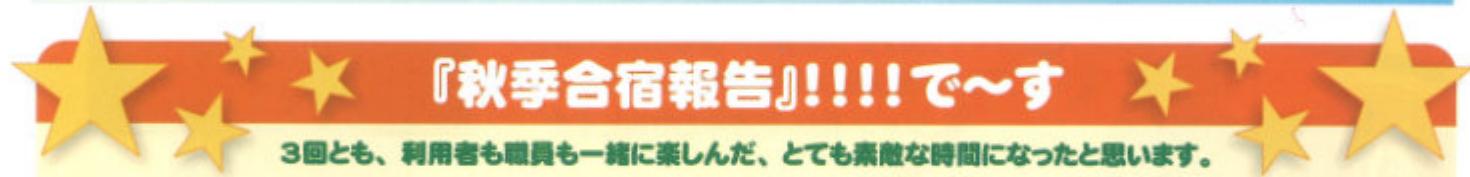
あゆみの家の作品担当は「表現している姿を見て頂きたい。」と熱く語っていました。



作品名「魂に火をつけて」

『秋季合宿報告』!!!!で～す

3回とも、利用者も職員も一緒に楽しんだ、とても素敵な時間になったと思います。



第1弾 『八景島秋季合宿』



サンサングループ・温泉グループともに、開業から25周年を迎え、出川哲郎のCMでも話題の『横浜・八景島シーパラダイス』でアクアミュージアムを楽しんじゃおうプラン!! エンターテーメント感満載のイルカショーや、話題の『チンアナゴ』や『カクレクマノミ』がいる LABO1、『ハイロアザラシ』や『カリコルニアアシカ』がいる

LABO2、イカやクラゲたちとともに、濃紺なブルーで包まれた外洋の世界を表現した新エリア!! 照明演出やフォトジェニックな水槽展示を行っていた LABO9と、まさに【日本一の五感超刺激島】を堪能しました。

二日目は、『ワールドポーターズ』『カップヌードルミュージアム』『コスモワールド』に分かれ、ミュージアムやショッピングや食事を楽しみました。



第2弾 『舞浜秋季合宿』



あおぞらグループは、たっぷりディズニーシーブラン!! 雨が降ったりやんだりのあいにくの天候でしたが、様々なショーやアトラクションを楽しみ、休憩所でしっかり休んだ後は、夜の水上ショー『ファンタズミック』!! ショーが始まると同時に雨が上がる奇跡的な計らいで、巨大なウォータースクリーンやレーザー光線、炎、光などの特殊効果で

➡ 報告の続きです

迫力ある幻想的な世界を目一杯堪能しました。二日目は、葛西臨海水族館で、のんびり様々な魚の様子を楽しみました。

こだまグループは、ディズニーシーで、ショッピング・アトラクション・ショー・ランチを楽しみましょうプラン！！

アトラクションも、本人の好みをもとに決めて、様々なアトラクションを楽しみました。昼食はポートディスカバリーの『ホライズンベイ』、夕食は イクスピアリ内の『自然派ビュッフェ・饗の詩』という趣の違う食事を楽しみました。



第3弾:『AYUMI ワンダーランド』



通所バスから玄関・ホームルームまで、バルーンや様々な装飾で、まさに『AYUMI ワンダーランド!!』 まずは2チームに分かれサンシャインシティへ。A チームは『サンシャイン水族館』内の「天空のペンギン」「カワウソ達水辺」他5つの新展示を堪能。B チームは『プラネタリウム【満天】』で星空の世界を楽しみました。

昼食後に、あゆみに帰ってきてからは、保護者教室もしている『荻野恵理さんによる YOGA ヒーリング』優しい声と YOGA の呼吸でたっぷりリラックス。夕方は、これまたあゆみではおなじみのミュージシャン『はんだすなおさんとその

仲間たちによるミュージカルコメディ』。照明も歌声もこれぞプロフェッショナルな時間に鳥肌が立ちました！！ そして夕食は『細川栄美さんによるスペシャルディナーコース』に舌鼓！！

2日目は、ファッショントランド『Tenbo』プロデュースのファッション企画！！ Tenbo ブランドのオリジナルの衣装をまとい、ヘアメイクもばっちり決めて、新宿東口で大撮影会！！とスペシャルな合宿になりました。



祝



成人・還暦を祝う会の報告



成人・還暦を祝う会を行いました。

今年は3名の方が成人を迎える、おひとりずつのエピソードを含めて紹介し、多くのご来賓のご祝辞を頂き、利用者全員の歌で祝いました。

成人を迎えた3名の方たちは、お祝いのHappyな雰囲気の中、少し緊張した面持ちではありました。うれしさを込めたコメントや身振りをされていました。



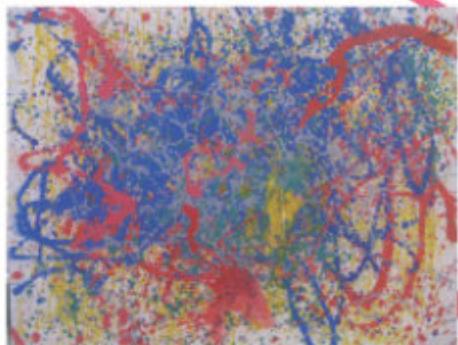
そして、還暦を迎える方のお祝いも当日行いました。長年関わった区職員の言葉一つ一つが、ご本人・保護者の方を含め、聞いている全員の心に残るものでした。「生きる」って、「人と人とのつながり」ってすごい事なんだと、改めて考えさせられました。



今年の見どころは、 「なん？コレ！コレクション」と題した作品展！



利用者共作 天橋立(ちぎり絵)



利用者共作 魂に火をつけろ



来場者も参加した作品

去る11月10日(土)、第42回あゆみ祭が開催されました。
日頃の活動で作った作品や、日常生活風景を切り取った作品など、
個性を主張した作品をホール、廊下、エレベーター内など、館内あちこちにズラリと展示。
今回は100号のキャンバスに大胆に描いた作品『魂に火をつけろ』など、大型作品にも取り組みました。
各グループでテーマカラーを決め、グループ作品も統一感あるものに仕上げました。
当日、来場者参加型の作品ブースもあり、多くの方々が参加してくださいました。
みんなで仕上げた作品は、あゆみ所内に現在展示中です。是非見に来てください！
たくさんのご来場、ありがとうございました！



グループ作品



カメラマン(利用者)の写真展



グループ作品 夕焼け



ご来場ありがとうございました！

佐藤のコラム

人々がチャレンジ出来るという事

今、人権擁護、障害者差別の撤廃、虐待防止、バリアフリー、ノーマライゼーションなど、これらはとてもボビュラーになつた言葉です。

最近、社会的弱者に関する「ユースをする際に私は思うのです。も

し、社会的弱者と言われる人々が世の中から次々と排除される、つまり、主流どきれるシステムの中で活躍できる方は優遇され、そこから逃れると途端に生きにくくなる社会は果たして健常者にどうで幸せなのだろうかと。

そのような社会では、起業、スポーツ含め様々なチャレンジをしていくことは考えず、経済的に一旦は上向いても、各個人が先行きの不安を抱え、モチベーションが低下し衰退していくと思います。

人々がチャレンジ出来るという事は、様々な支援があるからこそでき、皆が普通に安心して生きていける社会をつくるために、障害を得たとしても個人として尊重されて、多くの協力のもとで、普通に生きていける社会こそ一人一人が生きやすい社会ではないかと考えます。

今、私たちは障害者支援という仕事を携わり、一人一人の利用者のHappyと一緒に実現するために仕事をさせて頂いていますが、少し広い視点から考えると、私たちは社会全体の生きやすさの実現の一端を担っている仕事でもあると考える様になりました。

今後も利用者のそして皆様のHappyを作り出す事に多くの方のお知恵をお借りして取り組んでいきたいと考えます。